

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	2015年出生児を対象としたハイリスク新生児医療全国調査
研究責任者	中尾 厚
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>日本小児科学会新生児委員会では1990年から5年ごとに超低出生体重児（出生体重1000g未満）の死亡率の調査を実施してきました。調査の結果は日本の周産期医療の水準を示す重要な指標として利用されるとともに、超低出生体重児の分娩が予想される際に、ご家族に提供される情報としての意義を有します。今回の調査の目的は、これまで同様、日本小児学会新生児委員会を中心として、2015年に出生した超低出生体重児の死亡率や合併症の頻度を明らかにするとともに、過去の調査と比較してどのように変化しているか、さらには死亡率に影響を及ぼす要因を検討することです。上記のように大変意義のある研究と考えますので、当院NICUで入院加療を受けられた超低出生体重児の患者さんについて下記の方法で調査にご協力いただければと思います。</p>
研究方法	<p>1.対象となる方 2015年1月1日から2015年12月31日に出生体重1000g未満で出生し、当院NICUに入院した新生児</p> <p>2.調査方法 下記に示す項目について対象の患者さんの診療録からデータを抽出させていただきます。 出生体重、在胎期間、性別、新生児搬送・母体搬送の有無、分娩様式、母体ステロイド投与の有無、絨毛膜羊膜炎の有無、妊娠高血圧症候群の有無、児が入院した日齢、児の合併症、児の転帰（退院、死亡、転院など）、主たる死亡原因、退院時の体格、在宅医療の有無 （氏名や生年月日、住所、電話番号など個人を登録可能な情報は含まれません） 本研究を実施することによる患者さんへの新たな負担はありません。本研究への協力を希望されない患者さんは下記までご連絡下さい。希望されなくても不利益はございません。 今回の調査の結果は学術誌での論文発表や、諸外国との国際比較を行う際のデータとして活用されます。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 新生児科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:中尾 厚 TEL:03-3400-1311 FAX:03-3409-1604</p>